

ソニーとグラクソ・スミスクラインがホッケー女子日本リーグにおいて
「セーブ・ザ・チルドレン チャリティマッチ」を開催（5月1日／5月26日）

ソニー株式会社（以下ソニー）とグラクソ・スミスクライン株式会社（以下 GSK）は、国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンとの連携のもと、ホッケー女子日本リーグのソニー HC BRAVIA Ladies 対グラクソ・スミスクライン Orange United 戦（5月1日／5月26日）を「セーブ・ザ・チルドレン チャリティマッチ」として共同で開催します。これは企業スポーツを通じて社会課題の解決に貢献することを目指す新しい試みです。



「For the Next Generation」をスローガンとして社会貢献活動を推進するソニーと、国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンは、2010 年からパートナーシップを開始し、共同で運営する「子どものための災害時緊急・復興ファンド（以下「子ども緊急・災害ファンド」）を通じて、国内外の災害の被災地における子どもたちの支援を行っています。

※ファンドの詳細：<https://www.sony.co.jp/SonyInfo/csr/ForTheNextGeneration/emergencyfund/>

GSK は全世界で 2013 年から、100 万人の子どもたちの命を救うことを目標に、セーブ・ザ・チルドレンとパートナーシップ「Orange United」を組んでおり、チーム名もこの名称にちなんでいます。

※パートナーシップの詳細：<https://jp.gsk.com/jp/about-us/partnerships/save-the-children/>

今回の「セーブ・ザ・チルドレン チャリティマッチ」は、ホッケーというスポーツを通じて、より多くの方々に子どもたちの支援に取り組むことの意義について知っていただき、その支援の輪を広げていくことを目的に実施するものです。

試合会場ではソニーと GSK、セーブ・ザ・チルドレンの合同ブースを設置し、それぞれの子ども支援の取り組みについてのパネル展示、子どもたちのためのホッケー体験スペース設置、募金活動を行います。チャリティマッチでは、試合開始時に両チームキャプテンによる宣誓や両チームの想いを記したペナントの交換、試合終了後は両チームの選手が写真撮影と握手会を行い、募金の呼びかけを行います。

集められた募金は、セーブ・ザ・チルドレンによる子どもたちの支援のために活用されます。

（募金の一部はソニーとセーブ・ザ・チルドレンが共同で運営する「子ども緊急・災害ファンド」に寄付されます）

ソニーは今後も「For the Next Generation」のスローガンのもと、次世代を担う子どもたちのサポートをしてまいります。

セーブ・ザ・チルドレン チャリティマッチの概要

・試合：ソニーHC BRAVIA Ladies 対 グラクソ・スミスクライン Orange United

・日時/場所：

- ① 2019年5月1日(水)14:50～ / 岐阜県各務原市下切町 6-1-4 川崎重工ホッケースタジアム
 - ② 2019年5月26日(日)12:50～ / 栃木県日光市薄井沢 881 外 今市青少年スポーツセンター内
- ※ブースの展示は5月1日-2日、および5月25日-26日に各会場で実施いたします

※セーブ・ザ・チルドレンについて

セーブ・ザ・チルドレンは、子どもの権利のパイオニアとして100年の歴史を持つ、子ども支援専門の国際NGOです。現在約120ヵ国で子ども支援事業を展開。日本では、1986年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンが設立され、国内外で、行政や企業、地域社会と連携し、子どもたちとともに活動を行っています。 <https://www.savechildren.or.jp/>

※報道関係からのお問い合わせ先： ソニー(株)広報・CSR部 TEL 03-6748-2200